

令和6年度 公の施設目標管理型評価書【歴史博物館, 旧新潟税関庁舎等】

施設名	新潟市歴史博物館, 旧新潟税関庁舎等		
管理者名	(公財) 新潟市芸術文化振興財団	指定期間	令和3年4月1日 ~ 令和8年3月31日
担当課	歴史文化課		
所在地	新潟市中央区柳島町2-10ほか		
根拠法令	博物館法, 文化財保護法		
設置条例	新潟市歴史博物館条例, 旧新潟税関庁舎等管理条例		
施設概要	<ul style="list-style-type: none"> 新潟市歴史博物館 敷地面積 22,769.23㎡(旧新潟税関庁舎等含む) 施設 博物館本館(延床面積5,508.30㎡): 常設展示室, 企画展示室, 体験の広場 他 登録有形文化財旧第四銀行住吉町支店(延床面積919.50㎡) 屋外施設: 広場, 堀, 園路, 駐車場他 旧新潟税関庁舎等 施設 重要文化財旧新潟税関庁舎(延床面積393.38㎡), 石庫, 史跡旧新潟税関 		

施設設置目的
新潟市域の歴史的特性を明らかにし, 市民の歴史に対する理解を深めるとともに, 歴史を媒介とした市民交流を行うことにより, 市民の社会的活動及び文化的活動に寄与することを目的として設置する。
管理・運営に関する基本理念, 方針等
<p>1. 基本理念 資料の収集・保存や調査・研究によって新潟市の歴史的特性を明らかにし, 展示や普及活動を通じて情報を発信する。そして, 市民とともに地域認識を深め, 市民に歴史や文化を題材とした多様な活動の機会や場を提供する。また, 市民や利用者が, 地域や博物館の情報や歴史資料に対して抱く疑問や意見について受け止め, 博物館を市民や利用者との情報交換や交流を通じて新たな歴史を発見する場とする。</p> <p>2. 管理運営方針 ①新潟市域の歴史的特性を明らかにする。 ②市民の歴史に対する理解を深める。 ③歴史を媒介とした市民交流を行う。 ④市民の文化的・歴史的活動に寄与する。 ⑤文化財を保存・活用する。</p>

視点	評価項目	評価指標	実績	評価	評価コメント
市民	調査・研究の成果	博物館本館への年間入館者数85,000人以上	89,442人	A	
		館オリジナルの企画展を年4本以上実施	5本	A	自主事業の企画展を1本追加し, 入館者数増を図った
		歴史に関する講演・講座等を年40回以上実施	79回	A	
		体験プログラムを年60件以上実施	84回	A	
		展示図録を年2回以上発行	2回	B	「北前船と新潟」展、「石川侃齋」展の図録を発行した
		研究紀要を年1回発行	1回	B	
	施設普及事業の実施	収蔵資料の公開を年3回以上実施	11回	A	収蔵資料の公開を積極的に行い, 新潟市域の魅力発信に貢献した
		近隣地域と連携した普及活動を年3回以上実施	2回	B	年4回予定していたものの, 雨天中止により目標数を達成できなかった
	学校との連携	施設訪問への対応や出前授業・講義など, 各種学校との連携事業を年90回以上実施	120回	A	近年は施設見学だけでなく, 職場体験等学校連携の幅に広がりが見られる

	歴史文化事業の情報発信	ホームページ等を月4回以上更新し、情報発信を行う	都度更新	A	日々情報発信に努めている
		博物館ニュースを年3回以上発行	3回	B	
	来館者アンケート満足度	来館者に対するアンケートで、「良い」「とても良い」が70%以上	98.7%	A	
	歴史を媒体とした市民活動の場の提供	市民ボランティアスタッフの活動する機会を年100回以上	210回	A	市民ボランティアスタッフの活動の機会も多く、生涯学習施設としての役割も機能している
	苦情・要望に対する対応	来館者からの苦情・要望に対して、3営業日以内に回答	都度迅速に対応	B	
	その他	博物館ファンクラブ会員数を140人以上	R7.3.31時点101人	C	年々会員数が減ってきている。魅力あるファンクラブ運営の再考が必要
博物館ファンクラブ会員の活動件数を年7件以上実施		7回	B		
財務	管理経費の削減	管理経費を指定管理料年度協定額（管理費）以下	協定額： 205,534,650円 管理費： 203,648,122円	B	
	市の歳入の安定確保	歴史文化事業費の執行額に占める観覧料等収入の割合35%以上	78.2%	A	
業務	他施設・機関との連携	市関連機関・団体との情報共有の会議を年1回実施	3/5開催	B	
		日常連絡の適切さ	市への連絡訪問を月6回以上実施	月6回以上実施	B
		3か月毎の管理業状況報告の期限内提出	期限内に提出	B	
	安全確保体制の確立	防火管理者の選任及び防災訓練を年2回以上実施	年2回（6/28・1/24）実施	B	
	文化財の適正な管理	条例、規則、協定に基づく適正な管理の実施	実施した	B	
		旧新潟税関庁舎等管理条例施行規則に基づく監守業務の適正な実施	実施した	B	
	歴史資料の適正な収集保存管理	施設内でのくん蒸を年1回以上実施	6/23～6/25実施	B	
		展示室収蔵庫内の温湿度の定期調査を実施	毎日実施	B	
		文化財害虫の定期調査を実施	定期的に実施	B	
	施設の管理に係る関係法令の遵守	コンプライアンス研修の年1回実施	2/10～3/14オンラインで各自受講	B	
施設設備関係の各種法定点検の確実実施		建築物における衛生的環境の確保にかかる法律、消防法等にかかる法定点検を実施	B		
事件・事故発生時の対応の適切さ	マニュアル・連絡網の定期的な見直し（半期に1回）	都度更新	B		
業務仕様書等に定める事項の遵守	その他業務仕様書等に定める事項の遵守	遵守した	B		
人材	配置人員条件の充足	学芸員有資格者を8人以上配置	9名（3/31現在） ※産休職員1名含む	A	指標を上回る人員を配置している。
	職員研修の実施	専門員及び事務職員に対する研修を年4回以上実施		C	研修計画が曖昧だったため、実施できなかった
	接遇マナーの維持・向上	受付職員等への接遇研修を年1回以上実施	11/13実施	B	

指定管理者記載欄（アピールしたい事項・未達成項目への改善策等）

令和6年度は開館20周年の節目の年であり、記念展として「北前船と新潟」展や「新潟美人と花街」展を実施しました。そうした事業が来館者数増を牽引し、目標の85,000人を上回り、令和5年度より1万人強の来館者数増加につながりました。新潟市歴史博物館の事業実施を通じて新潟市魅力発信に貢献した成果と考えられます。

また、重点事業・日本遺産「北前船」を活かしたみなとまち文化発信事業では親子新潟みなど歴史探訪、新潟湊とつながる川湊をめぐる日帰りツアー、日本遺産「北前船」の文化財をめぐるツアーを行い、館内外で学芸員が解説することを通じ、参加者の地域の歴史に対する知見を深めることに寄与しました。

ただ、来館者数や来館者の満足度は目標を達成した一方、ファンクラブの会員数は減少の一途をたどっているため、ファンクラブの運営の在り方を再考する必要があります。また、令和6年度は研修計画が曖昧だったため、職員研修が目標回数まで実施できませんでした。研修についてもあらかじめ計画を立案、実施できるよう体制を整え、次年度は改善を図って行きたいと考えています。

所管課による総合評価（所見）

開館20周年の記念展として実施した「北前船と新潟」展や「新潟美人と花街」展が好評を博し、来館者数が前年度より1万人以上増加し、目標を大きく上回ることができた。

また、日本遺産「北前船」を活かしたみなとまち文化発信事業では、親子新潟みなど歴史探訪、新潟みなどつながる川湊をめぐる日帰りツアー、日本遺産「北前船」の文化財をめぐるツアーを行い、幅広い層に歴史文化と触れ合う機会を提供することができた。特に、親子新潟みなど歴史探訪では、小学生とその保護者等、今まで来館機会の少なかった層に対して、歴史文化と触れ合う機会を提供できたことを評価する。

しかし、ファンクラブ会員数は目標を達成できない状況が続いているため、新たな会員の獲得に向け、ファンクラブの知名度向上を図ってほしい。歴史文化課としても、市のLINE等を活用した広報を行い、ファンクラブ会員の増加に向けて協力していきたい。

研修について、今後は研修計画をしっかりと立てたうえで適切に実施し、人材育成や施設運営に役立ててほしい。

来館者アンケートで「良い」「とても良い」との回答が多く、来館者の満足度が高いことが伺える。一度来館された方が再度来館したくなるよう、また、今まで博物館に来たことのない方が足を運んでみたくなるよう、さらなる情報発信や魅力ある企画展や講座・講演等の開催を今後も期待する。

評価基準

- A 要求水準(=評価指標)を達成し、かつその達成度・内容が優れている。
- B 要求水準(=評価指標)が達成されている。
- C 要求水準(=評価指標)が達成されていない。